

落の動向を考える上で重要である。今後付近において調査が行われれば、より詳しい状況が判明するものと期待される。

#### 4. 弥生後期

今回の調査において、弥生時代後期の集落を囲む二重の環濠が確認されたことは、大きな成果である。

#### 土器の時期

この時期の遺物は、土器類を中心に環濠内、住居址等から多量に出土した。これらの遺物の時期については、これまで詳しく述べていないが、以下出土した土器から、時期を考えたい。まず、内側環濠であるSD01第3層の土器群から出土した土器について見る。壺のうち、広口壺については体部が中位で膨らむ扁球形のものが多く、球形化には至っていない。また、二重口縁壺も見受けられず、大型の長頸壺194も残っている。やや小型の長頸壺195は、肩部と口頸部との境の屈曲は明瞭である。甕についてみると、器形はほとんどのものが、体部上半に最大径をもつものである。また外面の調整についてみると、202や203のように外面全面をハケ等でタタキの痕跡を消すものが存在し、またそれ以外の甕でも体部外面下半をハケもしくはナアによってタタキの痕跡を消すものが多い。また、口縁部は面を持つものがほとんどである。高坏についてみると、脚部はすべて中空のもので、中実のものは存在しない。また、坏部に稜を持つタイプのものでは、口縁部が短くまた外反度も少ない。以上の特徴から、後期前半のうちの新しい段階に位置付けられる。このことは、高坏239が高槻市芝生遺跡大溝上層出土の高坏<sup>(1)</sup>と同じ形態であり、この芝生遺跡大溝上層の土器は森田氏の編年<sup>(2)</sup>による摂津V-3に位置付けられていることから齟齬はない。

次に、住居址出土の土器について見ると、まとめて遺物が出土したのは、SB01・SB04・SB08であるが、SB04では細頸壺112が見られる。また、高坏の脚部も中実のものが存在する。SB04では、坏部に稜を持つ高坏の口縁部はSD01に比べ外反度大きい。SB08では、手焙形土器158が存在し、長頸壺143は体部と口頸部の境は緩やかである。これらの諸特徴から、これらの堅穴住居の土器は、後期後半の初頭に属すると考えられ、森田氏の編年のVI-0からVI-1の時期に位置付けられる。

SD01第3層出土の土器は、SD01が半分程度埋まった状態での出土状況であることから、SD01が掘られた後、暫く経過した時期のものである。また、堅穴住居から出土した土器は住居の廃絶時期ないしは廃絶後少し時間が経過した後に入れられたものである。以上のことから、熊内遺跡における弥生時代後期の環濠集落は、後期前半のころから新しい時期に始まり、後期後半の早い段階でその営みを停止したものと考えられ、比較的短期間の集落と言える。

#### 集落域の復元

熊内遺跡内においては、今回の調査地の東側でこの時期の堅穴住居等が発見されており、集落域が東に広がることは確認されていた。また、第2次調査で確認された溝SD-01<sup>(3)</sup>を今回見つかったSD01と同一のものとする、この環濠は等高線にほぼ沿って円弧を描いている。明治期の地形図や、現状の地形を見ると、扇状地の頂部は今回の調査地の東、約100mぐらいのところにあるようである。この頂部を集落の中心と考え、ほぼ等高線に沿って環濠が掘られたとすると、熊内遺跡は直径約200～300mの環濠集落に復元される。

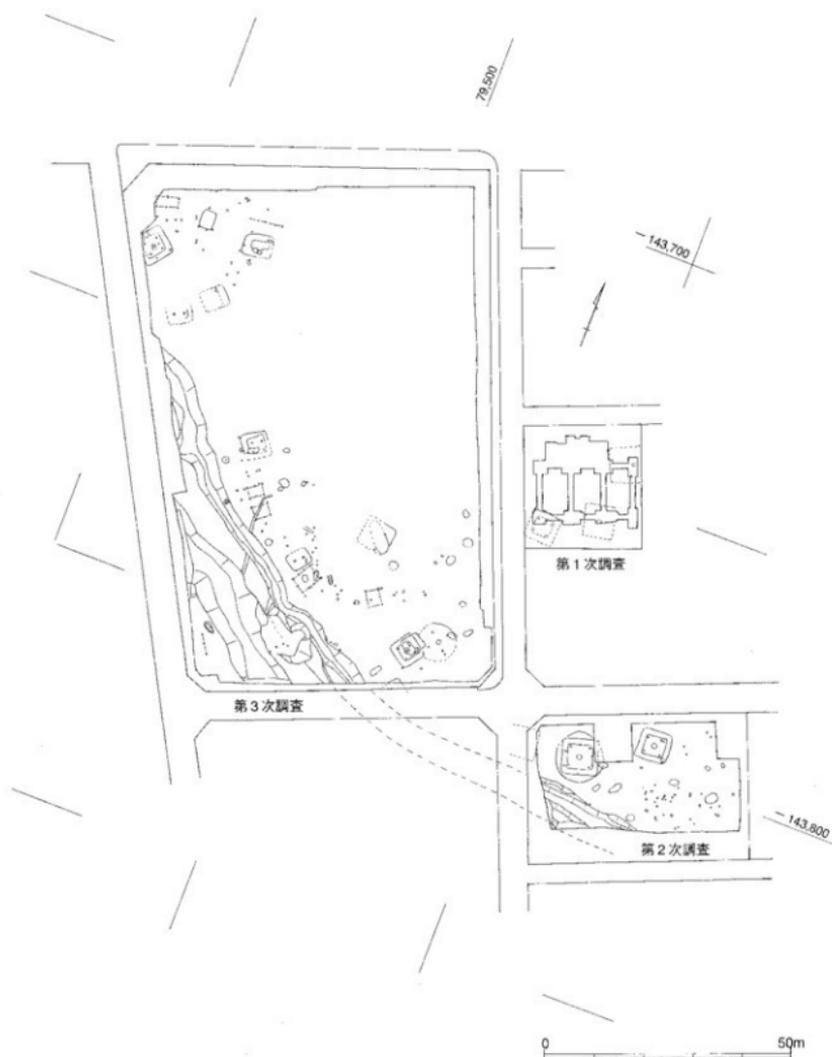


fig.103 熊内遺跡の既往の調査全体図



fig.104 環濠の復元 (S=1/2500)

### 5. 古墳時代前期

今回の調査では、熊内遺跡内では初めて古墳時代前期の竪穴住居も確認された。この時期の竪穴住居は、弥生時代後期に比べると住居間の距離が離れており、散在的に存在する。時期はSB11・SB07は布留式の前段階、SB05は布留式の中段階と考えられ、4世紀の初めから中頃にかけての集落であると考えられる。

### 6. 古墳時代後期

古墳時代後期の遺構として、土塚墓・木棺墓が合計4基確認された。これらの墓は地面上に直接墓壇を掘り込み、盛土や周溝等の外表施設は伴わないものである。熊内遺跡の西側にはかつて横穴石室を主体部とする二宮町古墳群<sup>10)</sup>が存在した。このことから、墳丘を持った古墳を造る区域と墳丘を持たない墓の区域が分かれていたと考えられる。このことは、その被葬者のなんらかの差異を表していると考えられ、この地域の古墳時代後期における墓制を考える上で今後の課題となる。

## II (-5, -10を除く)・III 註

- (1) 縄文時代中期末から後期の土器については、矢野健一氏、丹治康明氏、中村大介氏、平田朋子氏からご教示いただいた。記して深謝いたします。
- (2) 高松能呼ほか「小路頃オノ木遺跡」『兵庫考古』17 1982
- (3) 玉田芳英「中津・福田Ⅱ式土器様式」『縄文土器大観 4 後期 晩期 続縄文』1989小学館
- (4) 岩崎二郎「仏並71-O Dの縄文土器」『(財)大阪府埋蔵文化財協会研究紀要』1 1988 (財)大阪府埋蔵文化財協会 下巻 豊「西日本縄文後期土器の二三の問題-瀬戸内地方を中心とした研究の現状と課題-」『古代古備』第14集 1992
- (5) 山辺昭三『陶器古窯址群Ⅰ』1966 平安学園考古学クラブ  
田辺昭三『須恵器大成』1981 角川書店
- (6) 鉄線 forms 名は杉本秀宏氏による  
杉本秀宏「古墳時代の鉄線について」『福原考古学研究所論集8』1988吉川弘文館
- (7) 浅岡俊大編「神戸市東灘区 西岡本遺跡」2001六甲山麓遺跡調査会
- (8) 安田遊一・藤井太郎「雲井遺跡 第4次調査」『平成3年度神戸市埋蔵文化財年報』1994神戸市教育委員会
- (9) 矢野健一「兵庫県の縄文時代住居の概要」『第1回関西縄文文化研究会 関西の縄文住居 発表要旨・資料集』1999 関西縄文文化研究会
- (10) 『第1回関西縄文文化研究会 関西の縄文住居 発表要旨・資料集』1999関西縄文文化研究会
- (11) 森田克行「摂津地域」『弥生土器の様式と編年 近畿編Ⅱ』1990木耳社
- (12) 註(11)と同じ
- (13) 浅岡俊大編「神戸市中央区館内遺跡-第2次調査-」1996六甲山麓遺跡調査会
- (14) 木村次雄・小林行雄「飯子発見の神戸市生田町古墳」『考古学雑誌』第20巻第6号 1930 考古学会

表12 額内遺跡石材鑑定一覧表

遺跡番号	R番号	出土地区	出土層位	遺物名	空中重量(g)	水中重量(g)	体積(cms)	比重	石材名
98	R-997	C-3	SK334	磨石	240.6	154.8	85.8	2.8	四稜岩
119	R-384	D-8	SB01	台石	1764.0	1088.0	676.0	2.61	花崗四稜岩
138	R-308	F-10	SB04	砥石	1061.9		440	2.41	砂岩
161	R-587	A-2	SB08 上層	投彈	209.3	138.6	70.7	2.96	斑レイ岩
160	R-590	A-2	SB08 上層	投彈	257.6	161.3	96.3	2.67	四稜岩
162	R-772	A-2	SB08	投彈	159.6	100.3	59.3	2.69	四稜岩
	R-612	B-3	SB10 下層		18	11.1	6.9	2.61	凝灰岩
	R-1011	B-3	SB10	台石	1624.0	1002.0	622.0	2.61	斑状花崗四稜岩
181	R-1012	F-11	SB13	台石	912.0	538.0	334.0	2.58	花崗岩
259	R-134	D-10	SD01 第1層	磨石	161.2	95.9	65.3	2.47	砂岩
261	R-385	D-10	SD01 第2層	台石	644.0	380.0	264.0	2.44	花崗四稜岩
	R329-1	B-5	SD01 第2層		34.5	21	13.5	2.56	砂岩
	R329-2	B-5	SD01 第2層		1.8				
	R-766	E-11	SD01 第3層		68.4	42.3	26.1	2.62	砂岩
257	R-445	D-10	SD01 第2~3層	磨石	665	413.5	251.5	2.64	斑状花崗四稜岩
258	R-467	C-8	SD01 第3層	磨石	552.3	353.7	198.6	2.78	四稜岩
255	R-469	B-7	SD01 第3層下平	砥石	1352.2		484	2.79	四稜岩
260	R-397	D-10	SD01 第4層	磨石	157.2	103.2	54	2.91	斑レイ岩
256	R-477	C-8	SD01 第4層	磨石	535.2	319.8	215.4	2.48	砂岩
	R-829	E-11	SD01		1.8				軽石
295	R-368	D-10	SD05 第2層		80.7				スコリア
296	R-279	B-10	SD05 第5層	砥石	77.2	52.4	24.8	3.11	結晶片岩
	R-783	B7-8	SD05 第5層	砥石	294.8	171.6	123.2	2.39	砂岩
	R-280-1	B-C-9-10	SD05 第5層	磨石	1930		734	2.63	斑状花崗四稜岩
	R-280-2	B-C-9-10	SD05 第5層	磨石	1513		540	2.8	四稜岩
	R-280-3	B-C-9-10	SD05 第5層	磨石	1968		736	2.67	花崗四稜岩
	R-280-4	B-C-9-10	SD05 第5層	磨石	2104		792	2.66	花崗四稜岩
	R-280-5	B-C-9-10	SD05 第5層	磨石	109.7	67.5	42.2	2.6	花崗岩
302	R-526	C-3		黒褐色細砂	28.9	17.6	11.3	2.56	砂岩
303	R-512	C-2		黒褐色細砂	204.8	125.3	79.5	2.58	砂岩
304	R-515	C-2		黒褐色細砂上面	1568.2		583	2.69	四稜岩
306	R-555	B-2		黒褐色細砂	57.7	33.4	24.3	2.57	砂岩
305	R-568	B-3		黒褐色細砂	456.9	291.3	165.6	2.76	四稜岩
182	R-388	C-6	SK10	管玉	0.05		0.04	1.25	緑色凝灰岩

# 写 真 图 版





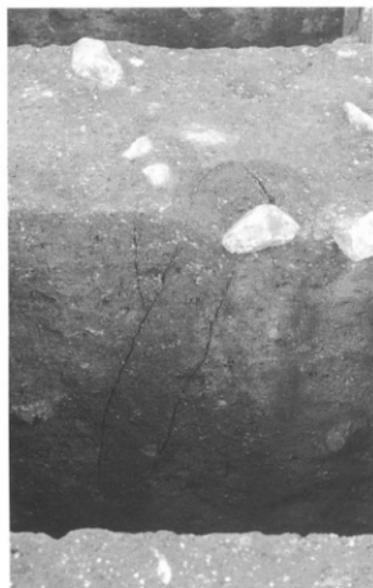
調査地空中写真（東から）



調査地空中写真（西から）



SB03 (北から)



SB03-2 P11 (南から)



SB03-1 P2 (南西から)



第2遺構面 空中写真（上が北）



第2遺構面 全景（東から）



第2遺構面 全景（北東から）



第2遺構面 全景（北西から）



第2遺構面 全景（南西から）



第2遺構面 縄文時代後期土坑群（北東から）

SK14  
(北から)



SK22  
(西から)



SK282  
(南東から)





第1遺構面 空中写真（上が北）



第1遺構面 全景（北から）



第1遺構面 全景（南東から）



第1遺構面 全景（北西から）



第1遺構面 全景（北東から）



第1遺構面 北西部全景（東から）



第1遺構面 北西部全景（北東から）



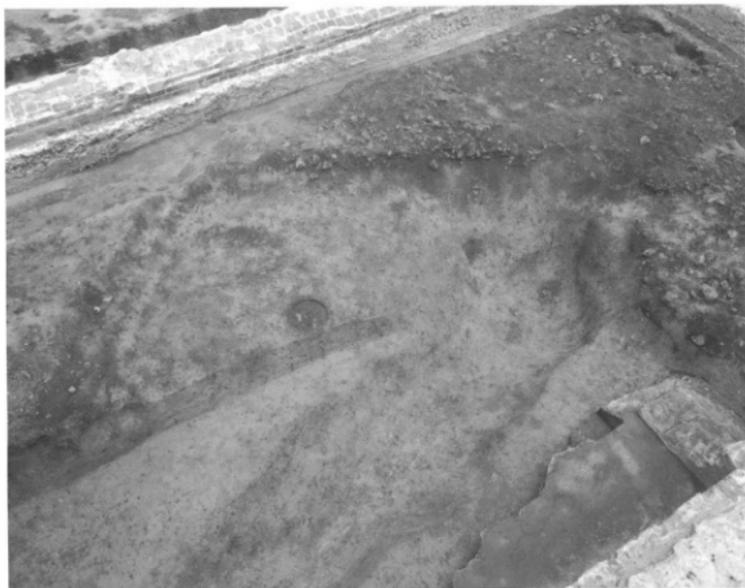
第1遺構面 北西部全景（北西から）



SB01 (南東から)



SB01 遺物出土状況 (北東から)



SB02 (北西から)



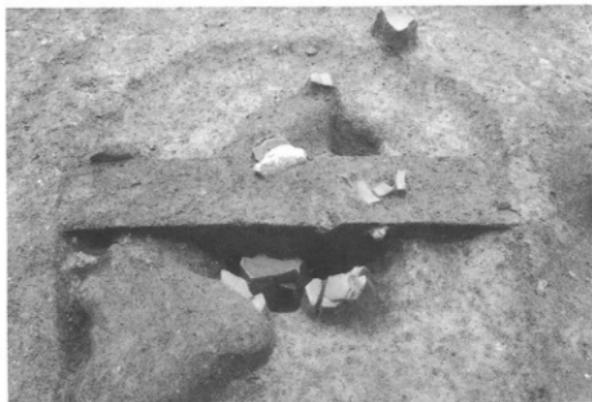
SB04・SB05 (北西から)



SB04遺物出土状況（北西から）



SB04遺物出土状況（北東から）



SB04  
中央土坑（南から）



SB04  
屋内土坑（西から）



SB04  
高床部土留め板痕跡  
（西から）



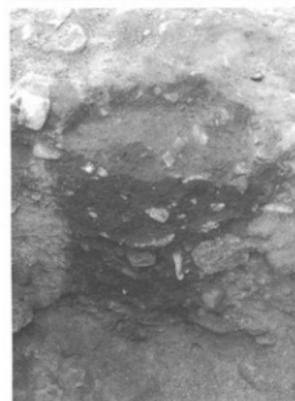
SB04・SB06 (東から)



SB06  
(東から)



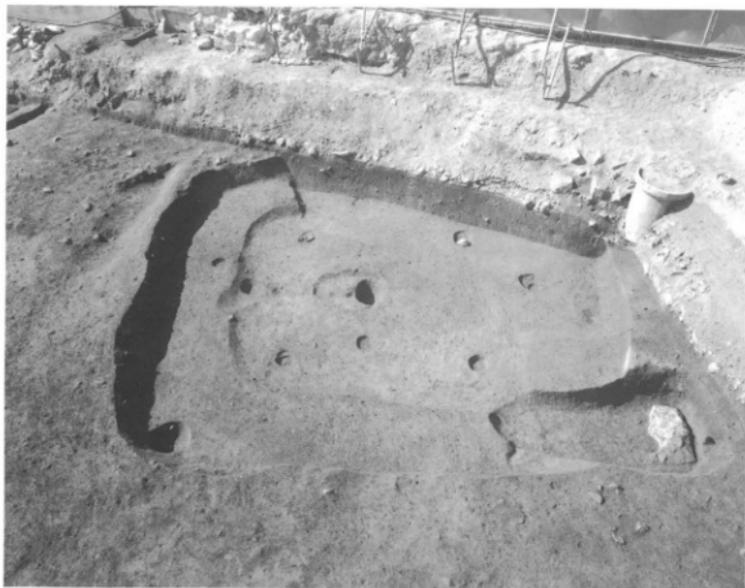
SB06  
中央土坑 (西から)



左 SB06  
SE主柱穴 (西から)



右 SB06  
NW主柱穴 (西から)



SB08 (北東から)



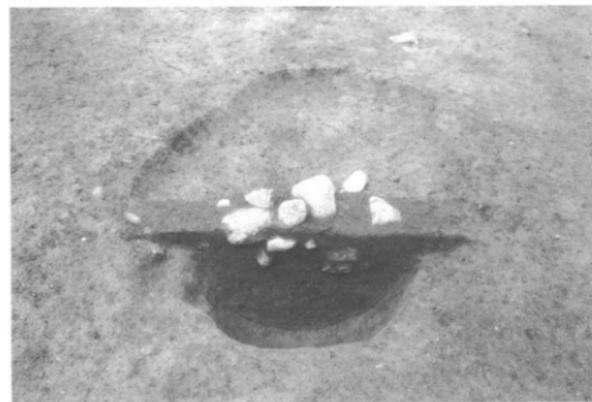
SB08 遺物出土状況 (北東から)



SB08  
遺物出土状況  
(南東から)



SB08  
手焙形土器出土状況  
(北東から)



SB08  
中央土坑  
(北から)



SB09 (東から)



SB09遺物出土状況 (南東から)



SB10  
(北東から)

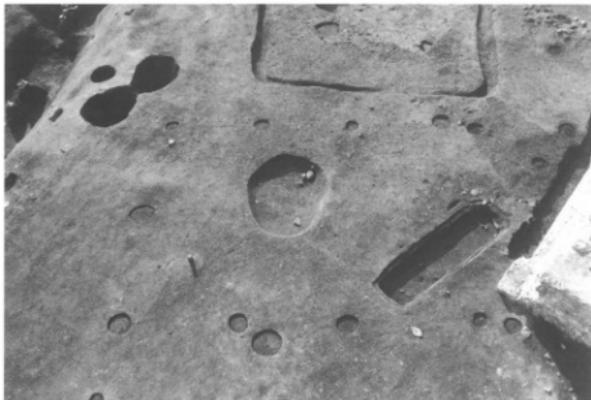


SB12  
(北から)



SB13  
(北西から)

SH01  
(南東から)



SH02・SH03  
(北から)

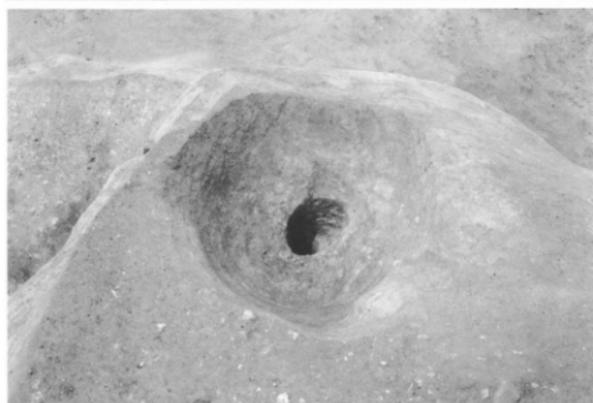


SH04  
(東から)





SH05  
(東から)



SK20  
(北東から)



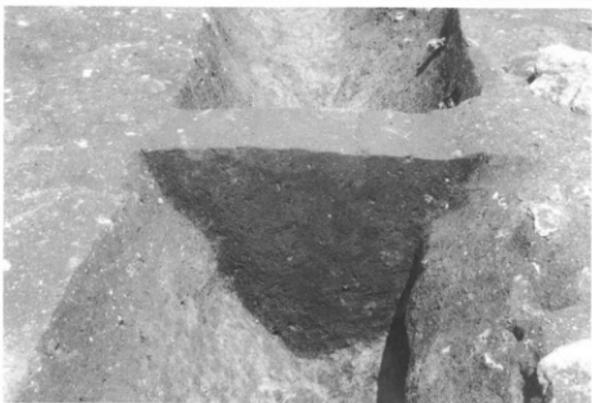
SK10  
(西から)



SK09  
(北西から)



SK19  
(北西から)



SD02断面  
(南から)



SD01 (南東から)



SD01 遺物出土状況 (北から)



SD01 遺物出土状況 (北西から)



SD01 遺物出土状況 (南東から)



SD01 (土器群12)  
遺物出土状況  
(北西から)



SD01 (土器群9・10)  
遺物出土状況  
(北から)



SD01 (土器群9)  
遺物出土状況  
(北から)

SD01  
セクション1  
(北西から)



SD01  
セクション2  
(北西から)



SD01  
セクション3  
(南東から)





SD05  
(南東から)



SD05  
セクション  
(南東から)



SD05  
セクション  
(南東から)

SB07  
(南から)



SB11  
(北から)



SB05 遺物出土状況 (南から)



SB11-SK01 遺物出土状況 (北から)



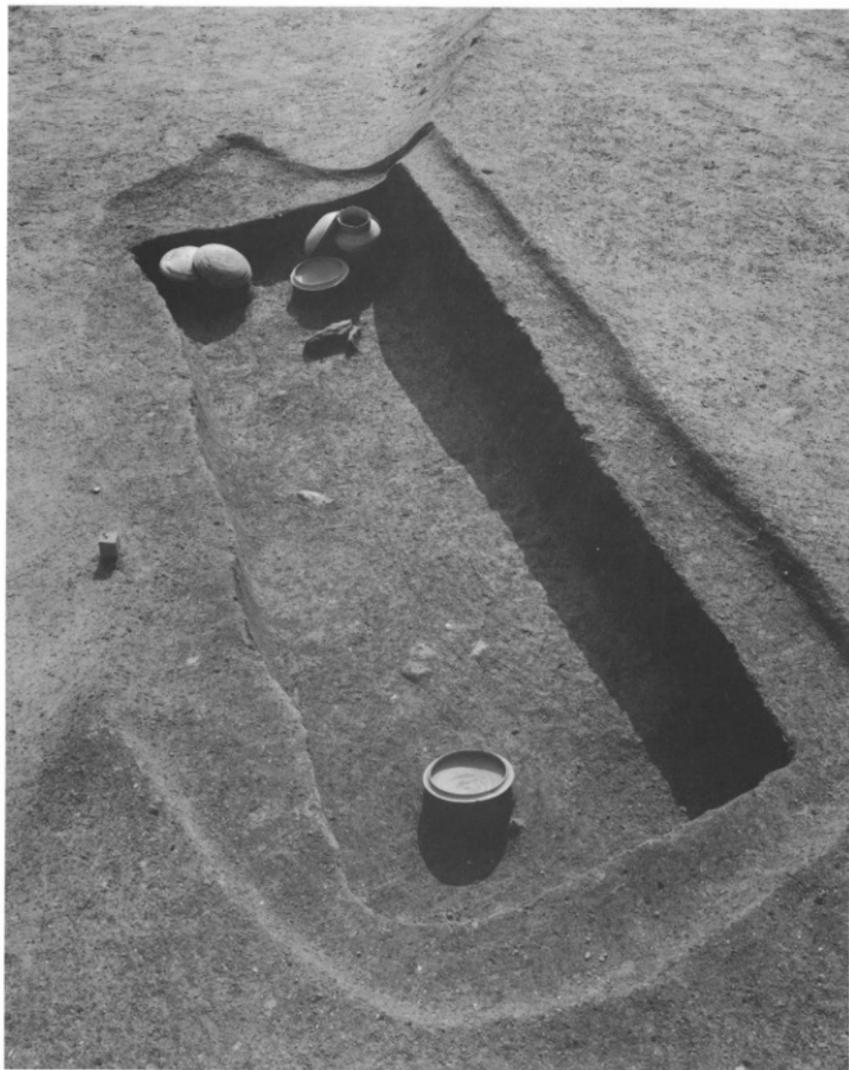
ST01  
(北西から)



ST01  
遺物出土状況  
(南西から)



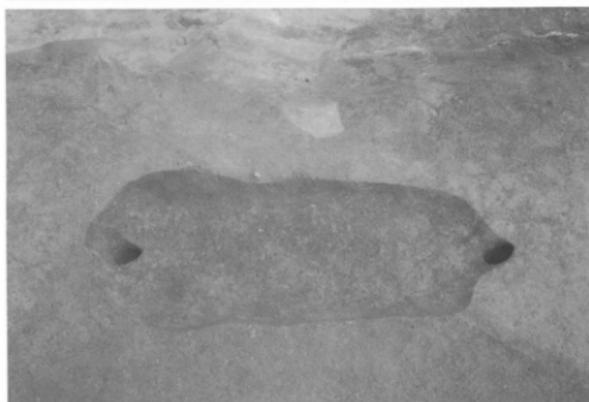
ST02  
(西から)



ST03 (北から)



ST03  
(西から)



ST03  
掘形  
(西から)



ST03  
遺物出土状況  
(北から)

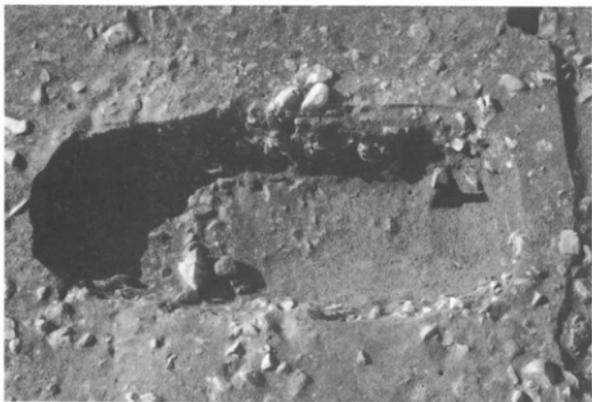
ST03  
南小口  
遺物出土状況(東から)



ST03  
北小口  
遺物出土状況(東から)



ST04  
(南東から)





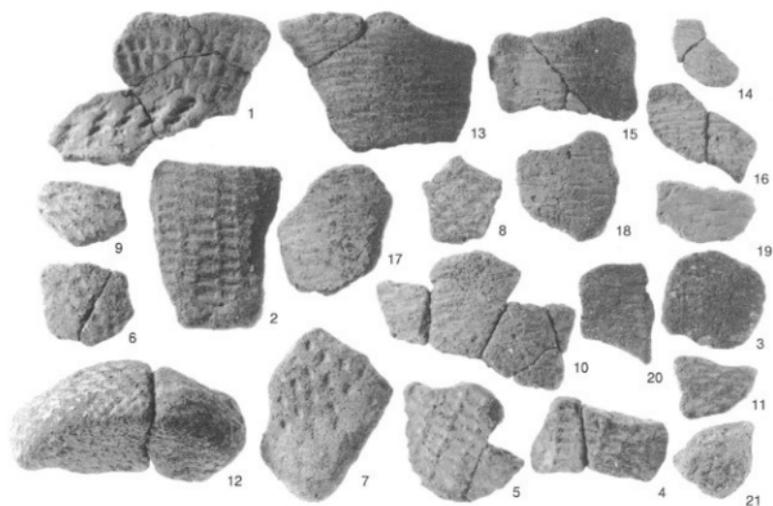
SX01  
(北西から)



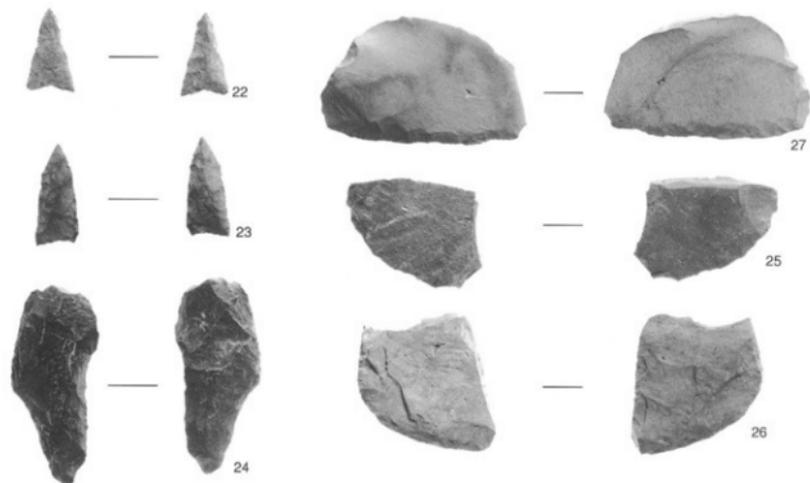
SX02・SX03  
(北西から)



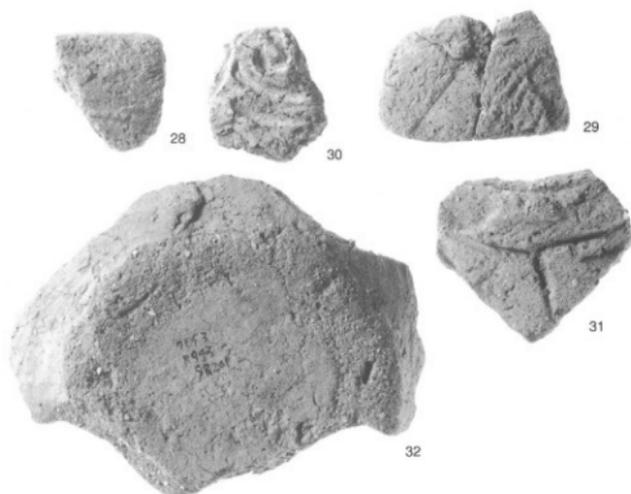
調査地北壁  
基本層序  
(南東から)



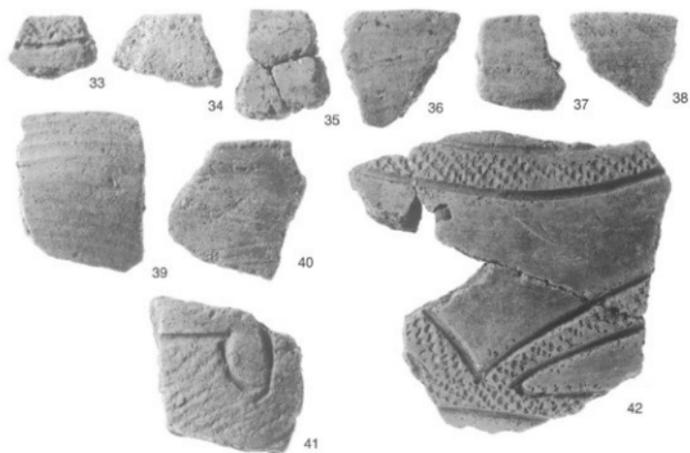
縄文時代早期押型文土器



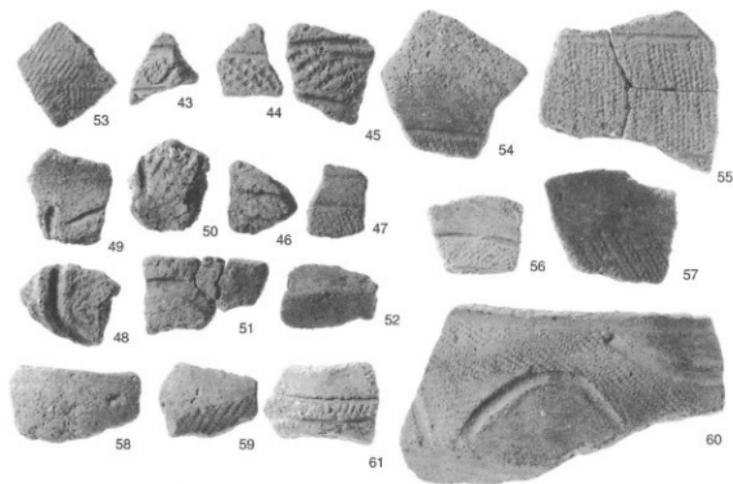
縄文時代早期の石器



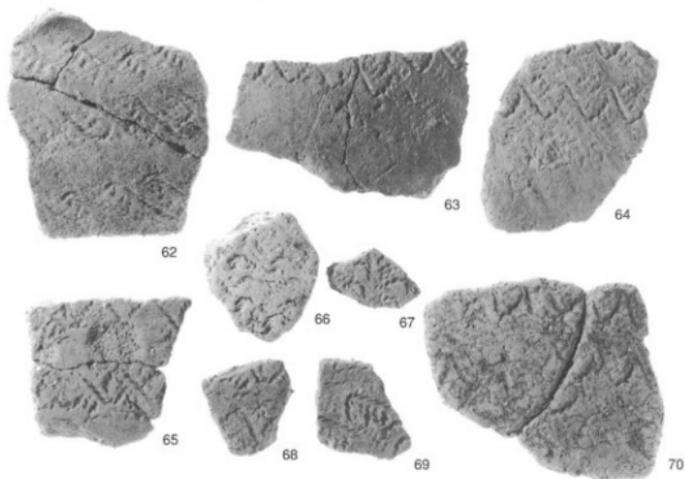
SR201出土土器



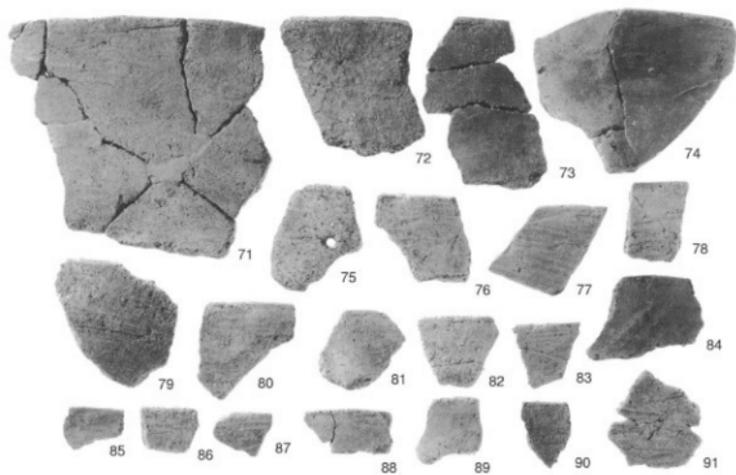
縄文時代後期の土坑出土土器



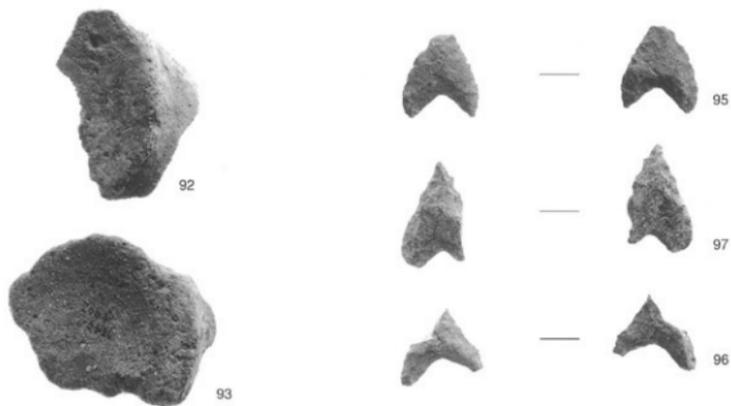
暗灰色砂层出土土器 (1)



暗灰色砂层出土土器 (2)



暗灰色砂層出土土器 (3)



暗灰色砂層出土土器 (4)

縄文時代後期の石鏃



94

暗灰色砂層出土土玉



98

S K 334出土磨石

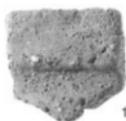


99

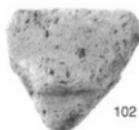
暗灰色砂層出土サヌカイト石核



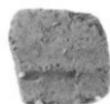
100



101



102



103



104



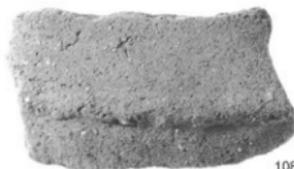
106



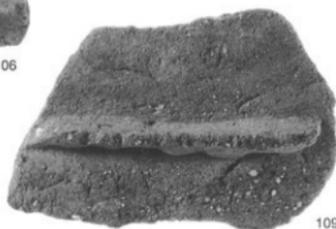
105



107



108



109

縄文時代晩期突帯文土器



110



111



112



113



115



114



116



119

SB 0 1 出土台石



117

SB 0 1 出土土器 (2)



121

SB 0 2 出土土器



SB 0 4 出土土器(1)



122



131



128



134



127



135



133



136



137



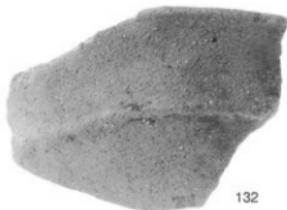
138



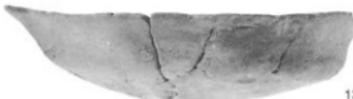
129



120



132



130



123



123



125



124



139



140

SB06出土土器



143



158

SB08出土土器(1)



145



148



156



144



159



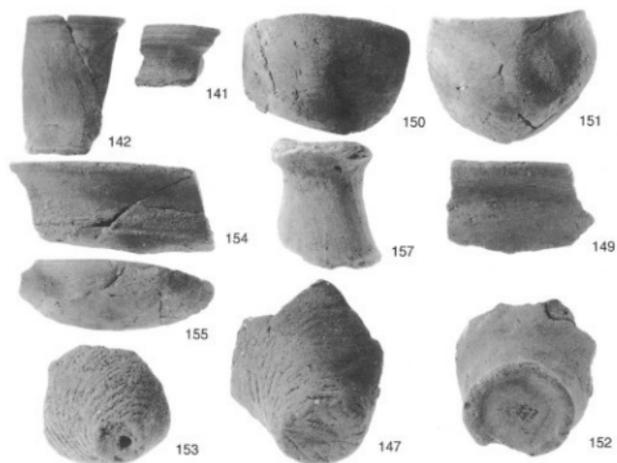
146



160

161

162



SB08出土土器(3)



SB09出土土器(1)



164



166



169



165



170



167



171



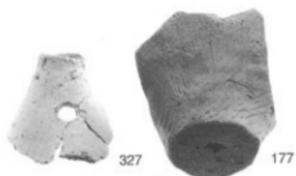
173



174



175



327

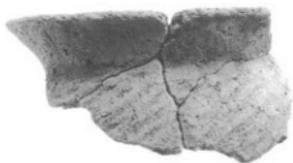
177



178



176



179



180

SB 1 2 出土土器



181

SB 1 3 出土台石



183



184

SD 0 1 出土土器 (1)



185



188



186



189



187



190



191



194



195



192



196



197



200



198



201



199



202



203



205



204



206



208



207



209



211



214



212



215



213



216



217



222



219



223



224



220



225



221



226



227



231



228



232



229



233



230



234



235



239



236



240



237



241



238



242



243



247



244



248



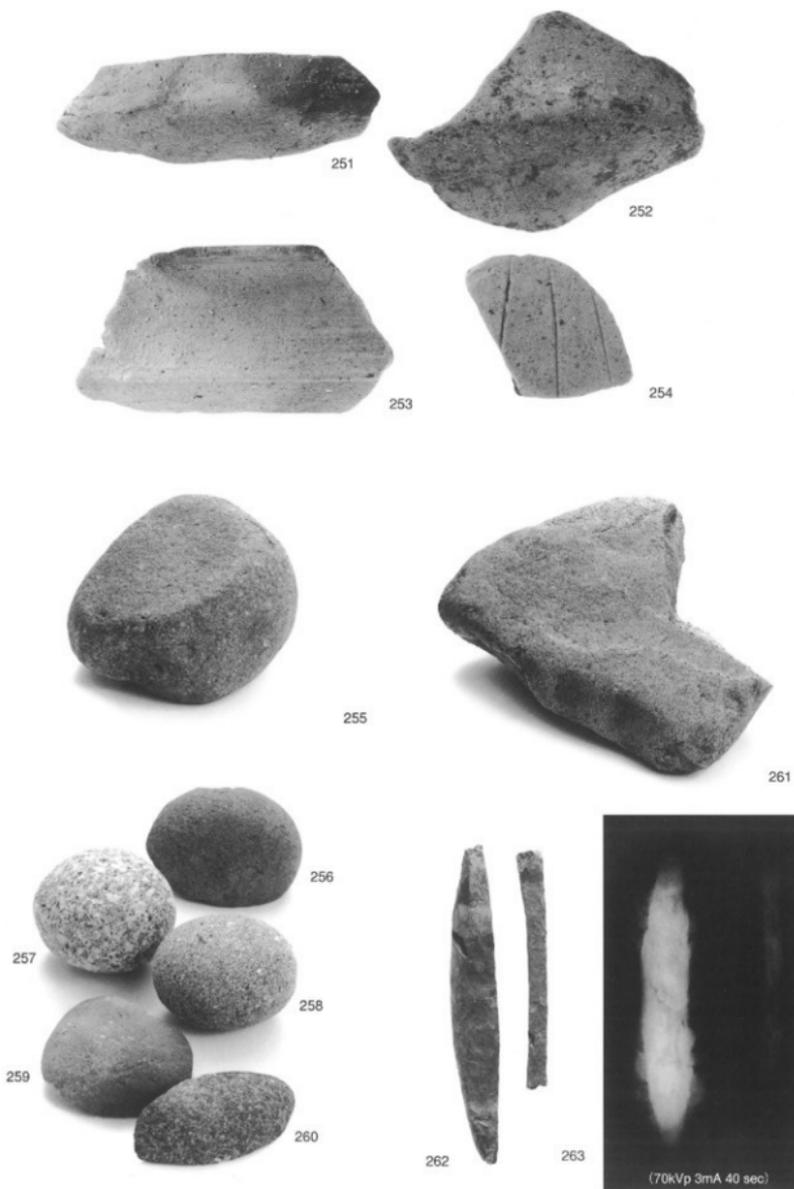
249



245



250



S D 0 1 出土土器 (11) 及び石器・鉄製品



266



284



269



270



271



272



273



275



280



276



281



278



282



277



283



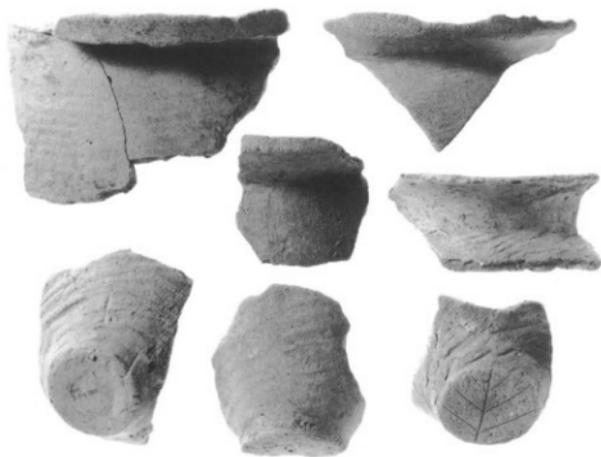
SD05 第3层出土土器



SD05 第4层出土土器



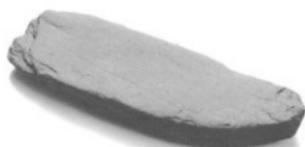
SD05第5層出土土器(1)



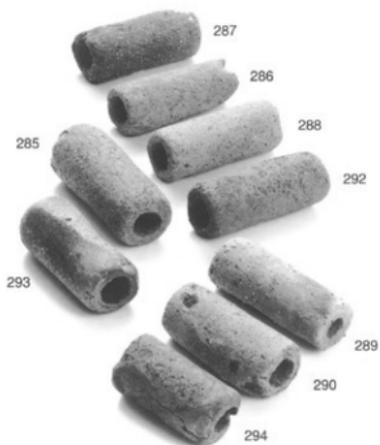
SD05第5層出土土器(2)



295



296



297 298



(左60kVp 3mA 40sec)  
(右70kVp 3mA 40sec)

SD05第5層出土土器(3)及びSD05出土遺物



307



308



310



309



311

SB05出土土器(2)



312



313

SB07出土土器



SB11出土遺物(1)



314



318



315



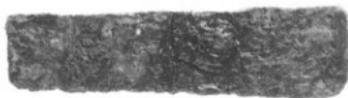
319



316



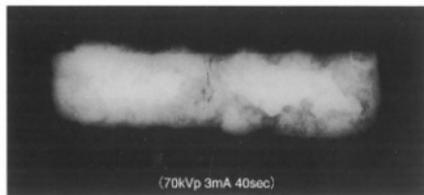
320

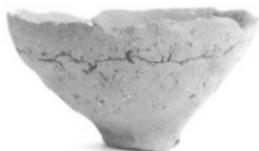


322



317





301



323



324



325



326



302



303



304



305



306

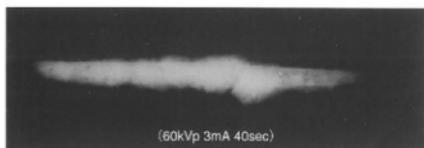


328

ST 0 1 出土遺物

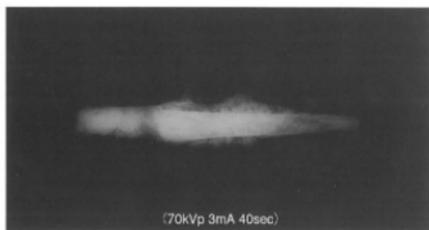


329



343

ST 0 4 出土遺物



ST 0 3 出土遺物



330



335



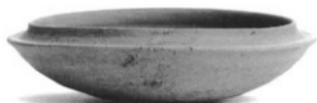
331



336



332



337



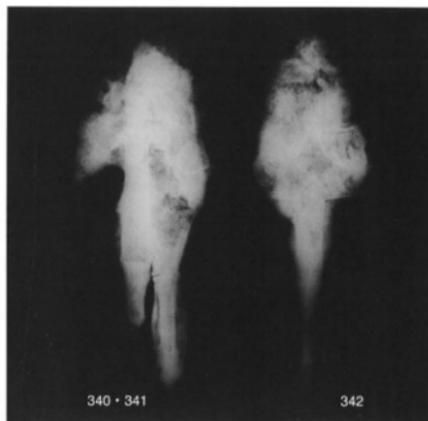
334



338

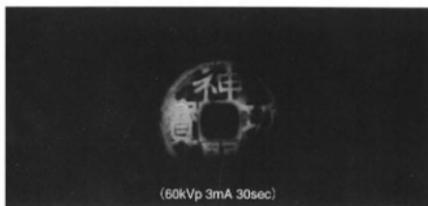


339



ST 0 3 出土鉄鎌

(70kVp 3mA 40sec)



奈良時代の遺物

(60kVp 3mA 30sec)

報 告 書 抄 録

ふりがな	くもちせき だい3じちょうさ はくつちょうさほうこくしょ							
書 名	熊内遺跡 第3次調査 発掘調査報告書							
編者者名	安田滋(編) 谷正俊 薬科哲男 (株)古環境研究所							
編集機関	神戸市教育委員会							
所在地	〒650-8570 兵庫県神戸市中央区加納町6丁目5番1号 TEL.078-322-6480							
発行年月日	西暦2003年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
くもち 熊内遺跡	ひょうごけん こうべし 兵庫県神戸市 ちゅうおうくくもちばし 中央区熊内橋通 7丁目1番	28110	3-38	34°	135°	20010301	7000	土地整備事業
				42′	12′	～		
				3″	4″	20011129		
種 別	主な時代	主な遺構		主な遺物			特記事項	
集落	縄文時代早期 縄文時代後期 縄文時代晩期 弥生時代後期 古墳時代前期 古墳時代後期 奈良時代	縄文時代早期 竪穴住居  縄文時代後期 土坑  弥生時代後期 竪穴住居 二重環濠  古墳時代前期 竪穴住居  古墳時代後期 木棺墓・土壙墓		縄文時代早期 押型土器(大川式) 石器(石鏃、削器) 縄文時代後期 土器(中津式～元住古山 1式、平城式) 石鏃 縄文時代晩期 突帯土器(長原式併行) 弥生時代後期 弥生土器・ガラス玉・投弾 土鏃 古墳時代前期 土師器・鉄製鎌 古墳時代後期 須恵器・鉄鏃 奈良時代 須恵器・土師器 銭貨(神功開寶)			縄文時代早期 初頭の竪穴住居  弥生時代後期 中ごろの二重環 濠を廻らす環濠 集落	

---

---

熊内遺跡 第3次調査 発掘調査報告書

2003・03・31

発行 神戸市教育委員会文化財課  
神戸市中央区加納町6丁目5番1号  
TEL. 078-322-6480

印刷 株式会社 旭成社  
神戸市中央区若菜通5丁目1-16-280  
TEL. 078-222-5800 (代)

